

多様な働き方ができる環境を整えて 女性や高齢者、若者も活躍できる建設業へ

小^{おぐま}熊建設株式会社
代表取締役 小^{おぐま}熊 大作さん

資格を生かして活躍する女性を支援して
高齢者にはスキルに応じた仕事を



1966年、世田谷の地で創業した『小^{おぐま}熊建設株式会社』。代沢の住宅地にあるモデルルームのような本社は、3代目にあたる代表取締役の小^{おぐま}熊大作さんが6年前に建て替えた社屋です。

「先代の父は現場主義で、社屋にはこだわらず、

プレハブの掘っ立て小屋みたいな本社でした(笑)」。

29歳で入社し、今から7年前の40歳のときに代表取締役に就任した小^{おぐま}熊さん。昔ながらの建設業独特の風潮を社内に感じ、時代の流れに沿った会社の方針や企業理念を考えて、社屋を建て替え、経営の改革を始めたといいます。「建設業はどんぶり勘定みたいなところもありますが、経営的には良くない。現場の経費などをしっかりチェックすることは、前職で金融業界にいたからこそ見えたことでした」。建設業がいわゆるサービス業としてお客様にきちんとサービスを提供するためにも、まず社内環境を整えていくことを課題と考え、労働環境の整備を始めたといいます。

現在、社員は30～40代を中心に15人。ちょうど社員が10人を数えた頃、区主催の相談会で紹介された社会保険労務士に顧問を依頼し、就業規則の作成や働き方改革の相談をするようになりました。建設業に従事したことのある方はもちろん、未経験だけど関連する仕事をしたいと考えている高齢者も積極的に雇用。電気工事の仕事をしていた60代の方を社員として新しく採用しました。「60歳を過ぎてもスキルがあれば建設業ではどの職種でも活躍できると思うんです。今まで外注していた電気関連の工事を内部で請け負うことができるようになりました」と小^{おぐま}熊さん。さらに、シニアと地域の仕事をつなぐ区の取り組み『R60-SETAGAYA-』の理念に共感し、募集した60代の方に現場の巡回や片づけなどを業務委託という形で行ってもらうなど、事業者と従業員の双方が良い形で人的資源を有効に活用しています。

SDGsを意識し、女性の活躍支援にも積極的に取り組んでいます。勤続10年超の佐藤愛さんは電話受付から始め、書類作成や発注などの事務を経て、一昨年に二級建築施工管理技士の資格を取得。今は現場監督を任されています。現場では女性の感性が生きる部分があるという小^{おぐま}熊さんは、女性も事務だけでなく現場のサポートをしてほしいと考えています。佐藤さんも「部材の発注も行いますが、それが現場で実際にどう使われているのかを見ると、いろいろな発見があっておもしろく、事務作業に生かれます。なにより工事の完成現場に立ち会うと、頑張ったよかったとやりがいを感じます」。



お父様も同社で大工として活躍されているという佐藤愛さん。

アプリを利用した勤怠管理や
フレックス制度で働きやすい環境

同社では、働きやすい環境づくりのため2年前からアプリで勤怠管理を始めました。「タイムカードだと本社に来て押さなければいけないけれど、現場に直行・直帰する社員も多く、タイムカードが白いまま、ということがよくあったんです。アプリで管理することで、誰がどこの現場にいるかも把握しやすくなりました」と小^{おぐま}熊さん。フレックス制度で時差出勤や時間単位で有給を取ることも可能ですが、アプリで申請することで気軽に利用できると社員に好評です。さらにテレワークやサテライトオフィスを導入。週1回のミーティングをテレビ会議で行っているため、現場にいても参加できるようになりました。また、お子さんが病気などで出社できなくなった場合、会社のパソコンを持ち帰ってテレワークをする女性社員もいるそうです。サテライトオフィスは、集中して業務を行いたいときやお客様との打ち合わせなどに利用されています。

業務における新しい取り組みとしてはドローンの導入があります。例えば住宅の屋根の診断や外壁を調査する場合、梯子に上がらなくてもドローンで撮影することで、地上で確認できます。「お客様と一緒に同じ目線で見ていただくことで説明しやすく、信頼感が増して、とても好評です」と手応えを感じているそうです。

建設業は即戦力を求めてしまうことが多いですが、未来の建設産業を担う若年労働者の育成と雇用の促進が課題だと小^{おぐま}熊さんはいます。「仕事がキツイとか休みが取れないイメージがありますが、働きやすく、休みもきちんと取れる環境を整えることで、今の状況は違うのだということを伝えていきたいですね。そのためにも若い方の意見を積極的に聞いています」。小^{おぐま}熊さん自身が異業種から入って疑問を感じるが多かった経験から、新しく採用した社員の新鮮な感覚を大切にされているそう。女性や高齢者が活躍できる場を提供し、若者に選ばれる会社になることが目標だといいます。



本社前でドローンを操作する小^{おぐま}熊さんと工事部営業課の乾さん。



男女比は男性10人、女性5人で、和気あいあいとした明るい職場だ。右はサテライトオフィス。

小^{おぐま}熊建設株式会社 | 代沢4-15-3
TEL : 03-3413-7068 <https://ogumakensetsu.com/>

